

実務事例

| 分類 | 旅費 | 作成年月日 | 平成 24 年 11 月 26 日 |
|------|---|-------|-------------------|
| 表題 | 県外(枠内)→県内(別枠)と連続して用務があり、途中私事居住地に宿泊する場合 | | |
| 内容 | <p>① 事務処理内容 大分出張(枠内)→県庁出張(別枠)と連続して用務があり、途中は熊本市の実家泊の場合の旅費について(※年休はとらない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月22日 別府への移動日 ・8月23日 別府での研修会参加→熊本市の実家泊 ・8月24日 県庁での研修会参加→自宅着 <p>②問題点や苦勞したこと(間違いなどで指摘されたこと) 実際の行程は、学校→別府→私事居住地→県庁→自宅ですが、計算上は、「学校→別府→熊本駅→県庁→自宅」という一連の旅行として取り扱うように学人から回答がありました。(資料1) また、枠内と別枠を試算表のどこから分けるかは、学人の担当者と話し合っ て決めました。 旅費システムへの入力、資料2のとおりです。試算表に熊本駅も入っていたのでその地点も入力して提出したのですが、後日学人から「駅の地点はとらないでください」と指摘がありましたので、訂正しました。</p> <p>② 実際やったこと、工夫したこと(訂正したこと) 学人から旅行日前日に交通手段や行程は試算依頼どおりで間違いはないか、改めて確認がありました。間違いがないように旅行者に出張前にもう一度確認し、出張後すぐに命令どおりの内容で出張したかを確認しました。</p> | | |
| 添付書類 | 旅行完了報告書・試算結果 | | |
| 感想 | 試算依頼をしてから試算結果が出るまでに何度も学人とやりとりをし、とても時間がかかりました。一連の出張の中で、支出が枠内と別枠に分かれていたので旅費システムの入力が複雑でしたが、勉強になりました。 | | |

※ 分類は、給与手当・旅費・文書・共済組合・予算・諸会計・備品管理・その他等